

経営比較分析表

大分県 由布市

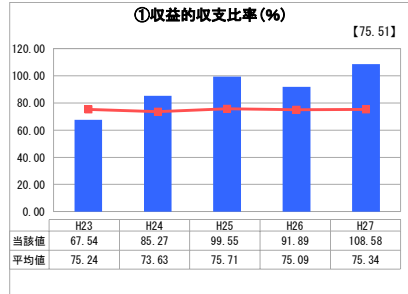
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.43	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,349	319.32	110.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,201	27.33	263.48

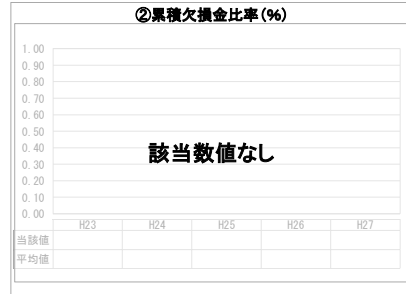
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



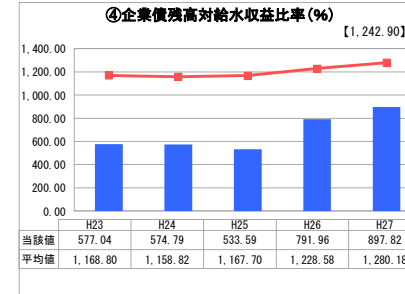
「単年度の収支」



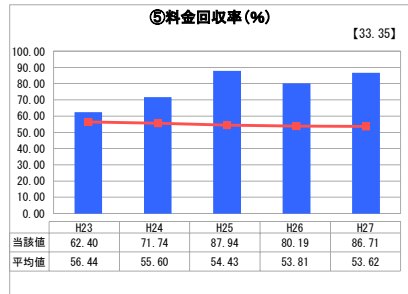
「累積欠損」



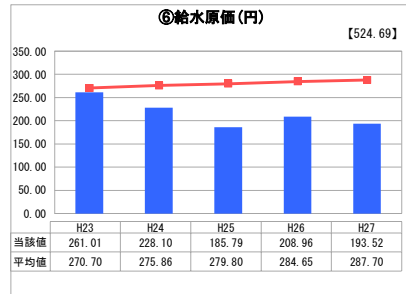
「支払能力」



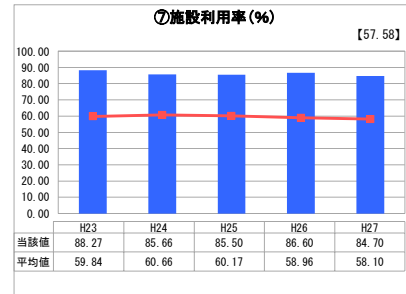
「債務残高」



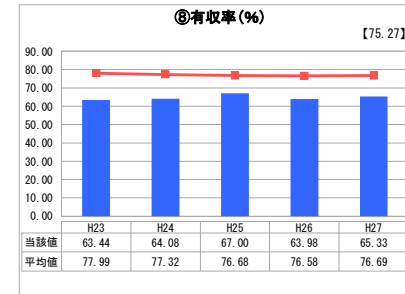
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

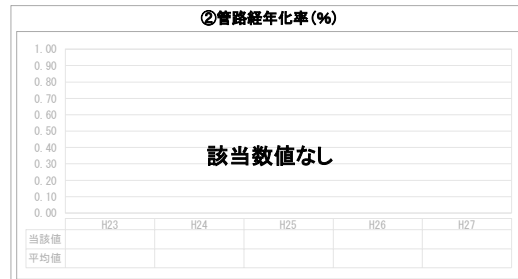


「供給した配水量の効率性」

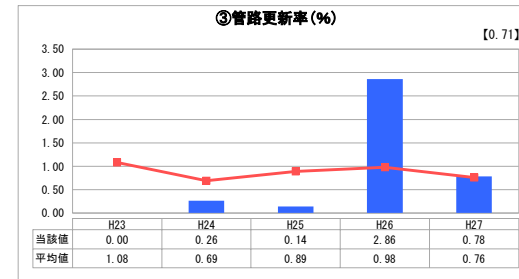
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
100%を上回っており、良好ではあるが今後とも総収益増、総費用減を目指し更なる経営改善を図っていく必要がある。

④企業債残高対給水収益比率について
平均値と比べ低い状態であるものの、平成26年度から上水との統合に向けた施設整備を行っているため、今後は増加傾向にある。

⑤料金回収率について
100%に満たず、必要な経費を給水収益で賄えていないため、料金の引き上げや費用削減の努力が必要。

⑥給水原価について
他都市と比べ低い水準にあるが、今後は統合事業による公債費の増加が見込まれることから、更なる費用削減に努める必要がある。

⑦施設利用率について
高い水準で推移しており、適切な施設規模であるといえる。

⑧有収率について
他都市と比べ低くなっている。管路の老朽化が原因と考えられるため漏水調査、老朽管の更新等の取組が必要。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率について
平成32年度の上水道との統合に向けて、平成26年度より管路更新工事を行っているため、高い水準となっている。

全体総括

有収率を除いては、平均値より良い水準であるが、料金回収率が100%に満たないなど、決して健全経営とは言えない。今後も、上水道との統合に向けた施設整備費や公債費等の増が見込まれることから、新水道ビジョンや経営戦略を策定し、計画的かつ効率的な経営に取り組んでいく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。